

# 【事業概要】建物内の宅配便等の物流を一元化する共同輸送

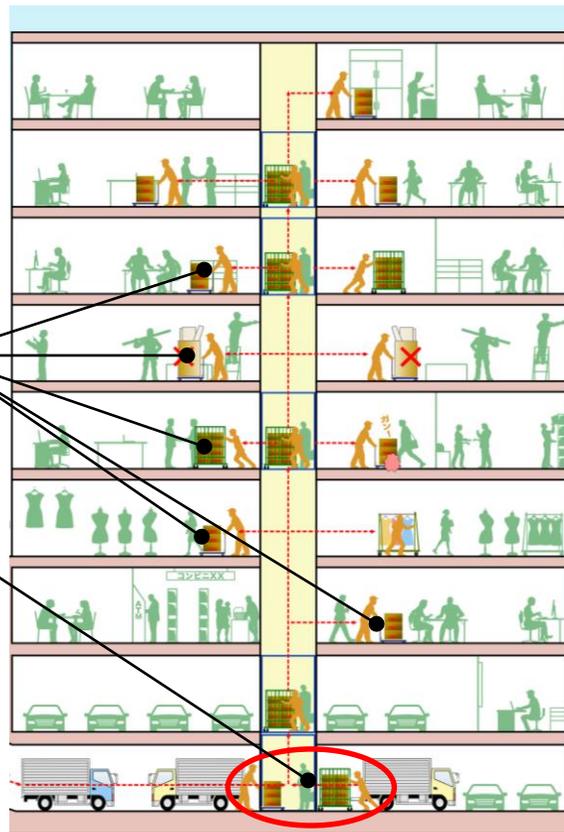
## 実施事業者

コラボデリバリー(株) / 西濃運輸(株)

## 事業内容

オフィスビルにおける宅配便等の集配について、ビル内の各テナントへの集配業務を1社でまとめて行うことで、環境負荷の低減、ドライバー運転時間の効率化を実現。併せて、館内のセキュリティ向上にも寄与。

## 計画前

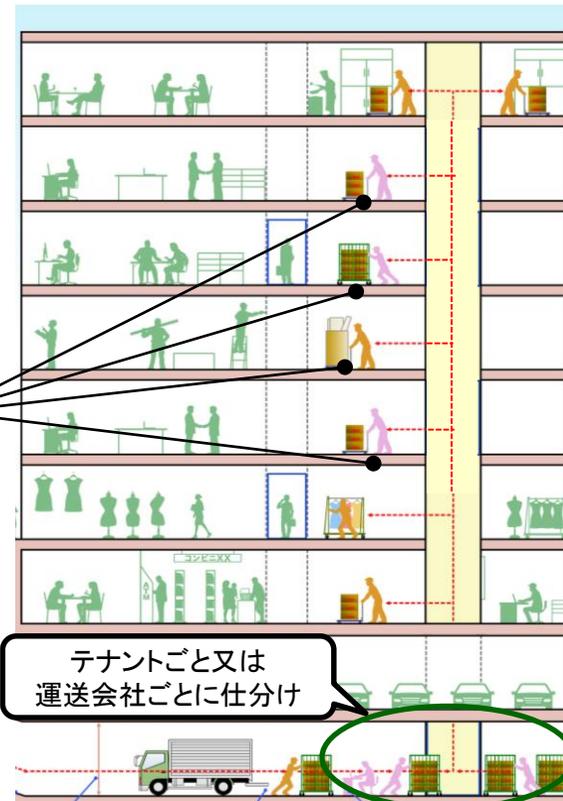


- 様々な宅配事業者が配達するため、都度エレベータが稼働するため、非効率
- 受取人側は、配送事業者の配達の都度対応が必要

- 午前中などは配達集中し、作業が輻輳・混雑
- エレベータの到着待ちも発生

ドライバーが配達するため、駐車時間が長くなる  
⇒ 駐車場の不足・場所を探すために余分に走行

## 計画後



- 一括して配達するため、エレベータ稼働を抑制
- 受取人側も一度の対応で済むため、効率的
- 館内の配達には専任のスタッフが担当するので、セキュリティも向上

配達貨物を降ろしたらすぐ発車できるため、駐車マスが埋まる確率が低い

テナントごと又は  
運送会社ごとに仕分け

※郵便物(信書)等、共同輸送の対象外となるものもある  
※配達を例に記載したが、集荷も同様

## 特徴

- 館内輸送の効率化によるELV稼働抑制に伴うCO<sub>2</sub>排出削減並びに駐車マス探索に伴う車両走行の削減によるCO<sub>2</sub>排出量削減および運転時間の効率化
- 配送事業者の一元化による館内セキュリティの向上

## 効果

- CO<sub>2</sub>排出削減量 約8t-CO<sub>2</sub>/年
- ドライバー運転時間省力化 182時間/年
- 館内セキュリティの向上

※ 数値は切り上げ・切り捨てにより端数処理